

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和08年08月07日

計画の名称	加古川市における下水道の安全・安心の推進（４）（防災・安全）														
計画の期間	令和０７年度　～　令和１１年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	加古川市														
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		5,560	A	5,560	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初	R9末	R11末
1	下水道による都市浸水対策の達成率を50.0%（R6）から51.6%（R11）に増加させる。			
	都市浸水対策を実施すべき区域のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対し安全である下水道整備が完了している区域の割合（下水道による都市浸水対策達成率） 概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対し安全である区域の面積（ha）／都市浸水対策を実施すべき区域の面積（3,463.7ha）	50%	51%	52%
2	管路施設の改築計画に基づく改築工事を完成させる。			
	管路施設の改築工事が完了している割合 改築工事が完了している管路延長（m）／改築工事が完了すべき管路延長（718m）	0%	33%	100%
3	耐水化計画に基づくポンプ場の耐水化率を増加させる。			
	ポンプ場の耐水化計画が完了している割合 耐水化が完了しているポンプ場数（箇所）／耐水化が完了すべきポンプ場数（6箇所）	33%	33%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	加古川市	直接	-	管渠（ 雨水）	新設	別府川第 5 排水区雨水幹 線（浸水対策）	□ 1.3m×0.7m L=160m	加古川市		■	■			150		-
	A07-002	下水道	一般	加古川市	直接	-	管渠（ 雨水）	新設	別府川第 9 排水区雨水幹 線（浸水対策）	□ 2.0m×2.0m L=80m	加古川市	■	■	■			200		-
	A07-003	下水道	一般	加古川市	直接	-	管渠（ 雨水）	新設	内水浸水リスクマネジメ ント推進事業（浸水対策 ）	内水浸水想定区域図作成 237 0ha	加古川市	■	■	■			100		-
	A07-004	下水道	一般	加古川市	間接	個人	-	新設	雨水貯留施設設置の助成	貯留施設 225戸分	加古川市	■	■	■	■	■	10		-
	A07-005	下水道	一般	加古川市	直接	-	-	改築	加古川市下水道ストック マネジメント計画	改築更新、実施設計、計画策 定	加古川市	■	■	■	■	■	4,400		策定済
		ストックマネジメント計画																	
A07-006	下水道	一般	加古川市	直接	-	ポンプ 場	改築	ポンプ場（地震対策）	2箇所	加古川市	■	■	■	■	■	500		-	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-007	下水道	一般	加古川市	直接	-	ポンプ 場	改築	ポンプ場（耐水化）	2箇所	加古川市	■	■	■	■	■	200		策定済
		耐水化計画																	
											小計						5,560		
											合計						5,560		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	206				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	206				
前年度からの繰越額 (d)	28				
支払済額 (e)	164				
翌年度繰越額 (f)	70				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 加古川市における下水道の安全・安心の推進（４）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 下水道の諸計画（合流式下水道緊急改善計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 関連する諸計画（河川整備計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

水の安全・安心基盤整備

